

令和7年度 年間指導計画 国語科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す能力、聞く能力、話し合う能力を身に付けさせるとともに、考えを広げようとする態度を育てる。</li> <li>構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。</li> <li>表現の仕方に注意して読む能力、情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1 5 1 1	世界はうつくしいと握手 意見を聞き、適切さを判断する。 硬筆(効果的に書こう)	作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。 作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 自分の考えと比べ、表現に生かしたい点を意識して聞く。 ノートを効果的に書くためのポイントを理解する。
5	2 1 1 4	学びて時に之を習ふ―「論語」から 情報の信頼性を考えよう 熟語の読み方 論理の展開を意識して書こう	人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連づけて考える。 情報は編集されている点に留意して、情報を比較・検討する。 重箱読み・湯桶読みを学び、様々な熟語の読み方を身につける。 伝えたい内容を明確にし、論理の展開を意識して、工夫して書く。
6	4 1 3 1	作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう 「走って」いるのは誰? 硬筆 短冊の中に配置を整え書こう。	論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。 多様な考えを持つ聞き手を説得できるように、根拠や話の構成を工夫する。 文節・連文節の対応について理解する。 用紙の中に行書で美しく配置を考えて俳句を書く。
7	4 1 2	俳句の可能性/俳句を味わう 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ	内容や表現の仕方に着目して、俳句を評価しながら読み深める。 和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。 様々な本の探し方を紹介し、新しい本との出会いを探す。
9	2 5 1 1 2	挨拶―原爆の写真によせて 故郷 推敲して論理の展開を整える 聞き上手になろう 慣用句・ことわざ・故事成語/造語力	詩に用いられている表現の効果を評価し、現代社会と重ねて考えを深める。 作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもつ。 相手の人柄や価値観にも迫れるように、様々な角度から質問する。 客観的な視点から、目的や意図に応じた表現になっているか推敲する。 慣用句、ことわざなどの語彙を豊かにし、漢字の持つ造語力を理解する。
10	4 4 1	正解が一つに決まらない課題と向き合う 考えを効果的に考えよう 初恋	文章を批判的に読み、評価するときに留意すべきことは何か、考える。 多角的に分析して批評文を書く。 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
11	1 2 4 1	古今和歌集 仮名序 君待つと―万葉・古今・新古今 夏草―「おくのほそ道」から 古典名句・名作選	古文の響きを味わい、「言葉」のもつ力について、自分の考えをもつ。 詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ。 文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。 古典作品の名作に触れ、古典を親しみ世界を広げる。
12	3 2 1 2	それでも言葉を話し合いを効果的に進めよう 合意形成に向けて話し合おう 本は世界への扉	グラフ等を踏まえ、情報を客観的に読み取り、論理的に表現する。 「ない」の識別を代表とする紛らわしい語句について理解する。 物語だけでなくノンフィクションの作品を読み、自分の世界を広げる。
1	3 1 3	毛筆(書き初めをしよう) 毛筆の鑑賞 温かいスープ	毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書く。 互いの作品を鑑賞し、美しさを感じる配置や字形を学ぶ。 国際社会における人と人との関係について、考えを深める。
2	2 1 4	わたしを束ねないで 漢字のまとめ 学習を振り返ろう	詩の中の言葉や表現から作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。 中学校で学習した漢字の復習をする。 三年間の国語の学びを振り返り、印象に残ったことを発表する。

3	6	三年間の歩みを振り返ろう	三年間の中学校生活を振り返り、振り返ることの意味について考え、記録をつける価値について学ぶ。 新たな進路への心構えを作る。
---	---	--------------	--

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 語彙を身に付け、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	・定期テスト、小テスト等
【思考・判断・表現】 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。	・作文、スピーチ等 定期テスト、小テスト等
【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	・ノート、ワークシート、小テスト

令和7年度 年間指導計画 社会科（歴史的分野） 第3学年

目標	・わが国の近代・現代の特色を世界の動きとの関連に着目して学習させる。
指導の重点	・基礎・基本の定着を図りつつ、歴史の大きな流れの理解への指導を重視する。 ・資料の読み取りや発表を重視し、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を育む。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
4	14	明治維新 日清・日露戦争と近代産業	新政府成立、明治維新の三大改革、富国強兵 文明開化、近代的国際関係、国境と領土確定 自由民権運動、立憲制国家の成立 条約改正、日清戦争、日露戦争、韓国併合と中国 産業革命の進展、近代文化の形成
5	14	第一次世界大戦 大正デモクラシー	第一次世界大戦、ロシア革命 国際協調の高まり、アジアの民族運動 大正デモクラシーと政党内閣 広がる社会運動、男性普通選挙の実現 新しい文化と生活
6	14	世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本	世界恐慌と各国の対策、欧米の情勢とファシズム 昭和恐慌と政党内閣の危機、満州事変と軍部の台頭 日中戦争と戦時体制 第二次世界大戦、太平洋戦争 戦時下の人々、戦争終結
7	6	戦後日本の出発 冷戦と日本の発展	占領下の日本、民主化と日本国憲法 冷戦開始、植民地解放、独立の回復と55年体制 緊張緩和と日本外交、高度経済成長 マスメディアと現代文化
9	6	新たな時代と日本と世界	冷戦後の国際社会 変化する冷戦後の日本 持続可能な社会の実現に向けて

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 各項目の基礎的事項を理解し、知識として習得し、地図や資料から歴史的事象の特色を読み取ることができる。	・定期考査 ・単元テスト
【思考・判断・表現】 近代・現代の社会の特色について自分の意見をまとめ、表現できる。	・定期考査 ・パフォーマンス課題
【主体的に学習に取り組む態度】 社会的事象に関心をもち、意欲的に意見を発表したり、表現したりすることができる。	・単元テスト ・パフォーマンス課題

令和7年度 年間指導計画 社会科（公民的分野） 第3学年

目標	現代社会に関する「見方・考え方」の基礎を養い、社会の諸問題に着目させる。
指導の重点	日常生活との関連を重視しつつ、基礎・基本の定着を図る。発表・表現などの活動に加え、疑似体験を重視した授業を展開し、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を育む。

月	時数	単元名（題材名）	学習内容
9	10	現代社会の見方や考え方	情報化が進む現代、グローバル化が進む現代、少子高齢化が進む現代、生活に息づく文化、日本の伝統と文化、社会的存在として生きる私たち、効率と公正、私たちときまり
10	15	個人の尊重と日本国憲法	個人の尊重と憲法上の権利、自由権、平等権と差別されない権利、日本社会の差別の現実、社会権、政治に参加する権利と人権を守るための権利 権力の分立、憲法の保障・改正と私たち
11	12	現代の民主政治と社会	国民の願いを実現、世論とマスメディア、政党の役割、選挙制度とその課題、国会の役割としくみ、国会の現状と課題、内閣の役割としくみ、行政の役割と課題、私たちの生活と裁判、人権を守る裁判とその課題、地方自治と地方公共団体、地方公共団体のしくみと政治参加、地方財政の現状と課題、私たちと政治参加
12	12	私たちの暮らしと経済	経済活動とお金の役割、お金の使い方と経済の考え方、価格の働きと経済、家計の収入と支出、消費生活と流通の関わり、消費者問題と政府の取り組み、私たちの生活と企業、企業活動のしくみ、金融のしくみと働き、企業競争の役割、働くことの意義と労働者の権利、労働環境の変化と私たち、企業の社会的責任、景気の変動とその影響、日本銀行と金融政策、グローバル化と日本経済、これからの日本の経済と私たち、私たちの生活と財政、国の支出と収入、社会資本の役割と環境への取り組み、社会保障と私たちの生活、これからの日本の財政
1	14	地球社会と私たち	国家と国際社会、領土をめぐる取り組み、国際連合の働きとしくみ、現代における紛争、兵器の脅威と軍縮への努力、グローバル化が進む国際社会、国際社会における日本の役割
2	14	より良い社会を目指して	貧困問題とその解消、地球規模で広がる環境問題、資源・エネルギー問題、国際社会のよりよい発展、持続可能な社会を目指して
3	9	より良い社会を目指して	まとめ学習

評価の観点および規準	主な評価資料
【知識・技能】 各項目の基礎的事項を理解し、知識として習得し、現代の社会的事象に関する資料を収集し、選択した情報を読み取ることができる。	・定期考査 ・単元テスト
【思考・判断・表現】 現代の社会的事象から課題を見だし考察し、自分の意見をまとめ、表現できる。	・定期考査 ・パフォーマンス課題
【主体的に学習に取り組む態度】 社会的事象に関心をもち、意欲的に意見を発表したり、表現したりすることができる。	・単元テスト ・パフォーマンス課題

令和7年度 年間指導計画 数学科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の平方根、多項式と2次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 <math>y=ax^2</math>、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。</li> <li>数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を育成する。</li> <li>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を育てる。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。</li> <li>数学の事象から問題を見だし解決する活動を取り入れる。</li> <li>数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動を取り入れる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4 5	17	1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の計算 単項式と多項式の乗法、除法 多項式の乗法、展開の公式</li> <li>因数分解 因数分解、因数分解の公式</li> <li>式の計算の利用 式の計算の利用</li> </ul>
6	18	2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根 平方根、有理数と無理数</li> <li>根号をふくむ式の計算 根号をふくむ式の乗法と除法、根号をふくむ式の加法と減法 いろいろな計算、近似値と有効数字</li> <li>身のまわりにある平方根 身のまわりにある平方根</li> </ul>
7 9	15	3章 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式 2次方程式とその解、因数分解による解き方 平方根の考えを使った解き方、2次方程式の解の公式 いろいろな2次方程式</li> <li>2次方程式の利用 2次方程式の利用</li> </ul>
9	15	4章 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数 <math>y=ax^2</math> 2乗に比例する関数、関数 <math>y=ax^2</math> のグラフ、関数 <math>y=ax^2</math> の値の変化</li> <li>関数の利用 関数 <math>y=ax^2</math> の利用、いろいろな関数</li> </ul>
10 11	23	5章 相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>相似な図形 相似な図形の性質、三角形の相似条件、相似な図形の面積の比 相似な立体とその性質</li> <li>平行線と線分の比 三角形と比、平行線と線分の比</li> <li>相似の利用 相似の利用</li> </ul>
11	11	6章 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>円 円周角の定理、円周角の定理の逆、円の性質の利用</li> </ul>
12 1	15	7章 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理 三平方の定理、三平方の定理の逆</li> <li>三平方の定理の利用 平面図形への利用、空間図形への利用</li> </ul>
2	7	8章 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>母集団と標本 母集団と標本、標本調査の利用</li> </ul>
2 3	19	1年間の総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の総まとめ</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査 ・単元テスト など
<b>【思考・判断・表現】</b> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・	・定期考査 ・単元テスト など

<p>的確に表現する力を身に付けている。</p>	
<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>	<p>・ 問題集          ・ ノート          ・ プリント          ・ 振り返り など</p>

令和7年度 年間指導計画 理科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果に基づき表やグラフを作成し、レポートを作成発表する。またモデルなどの活用により思考力や表現力を養う。</li> <li>科学技術が身近な生活に活かされていることと結びつけ、より理解を深めるとともに科学的な考え方を生活に活かせるように指導する。このため、ものづくりや生活に基づいた課題提示を行う。</li> <li>生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。</li> <li>観測しにくい現象などをコンピュータやプロジェクタなどを用いてシミュレーションやイメージ画像として提示するなど、ICT機器を活用して生徒の思考と理解を支援する。</li> <li>計算や化学反応式などつまずきやすい課題を、家庭で反復練習させるように支援し、小テストなどによって定着を図る。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	11	3-1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	<ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液にすると電流が流れる物質</li> <li>電解質の水溶液に電流が流れたときの変化</li> <li>電気を帯びた粒子の正体</li> </ul>
5	10	第2章 酸・アルカリとイオン	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸性やアルカリ性の水溶液の性質</li> <li>酸性やアルカリ性の性質を決めているもの</li> <li>酸性・アルカリ性の強さ</li> <li>酸とアルカリを混ぜたときの変化</li> <li>イオンで考える中和</li> </ul>
6	6	第3章 電池とイオン	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属のイオンへのなりやすさ</li> <li>電池のしくみ</li> <li>日常生活と電池</li> </ul>
6	13	3-2 生物どうしのつながり 第1章 生物の成長・生殖	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物のふえ方</li> <li>細胞のふえ方</li> </ul>
7	8	第2章 遺伝と進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>親から子への特徴の伝わり方</li> <li>遺伝のしくみ</li> <li>遺伝子の本体</li> <li>生物の共通性と多様性</li> <li>進化の証拠</li> <li>生物の移り変わりと進化</li> </ul>
9	2	第3章 生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物どうしのつながり</li> <li>生態系における生物の数量的関係</li> <li>生物の遺骸のゆくえ</li> </ul>
9	8	3-1 運動とエネルギー 第1章 力の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>水中のはたらく力</li> <li>力の合成</li> <li>力の分解</li> </ul>
10	16	第2章 力と運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の表し方</li> <li>水平面上での物体の運動</li> <li>斜面上の物体の運動</li> <li>物体間での力の及ぼし合い</li> </ul>
11	12	第3章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事</li> <li>エネルギー</li> <li>エネルギーの変換と保存</li> <li>生活を支えるエネルギー</li> <li>エネルギー利用上の課題</li> </ul>
11	8	3-4 地球と宇宙 第1章 太陽系と宇宙の広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球・月・太陽</li> <li>太陽系</li> <li>宇宙の広がり</li> </ul>
12	10	第2章 太陽や星の見かけの動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽の動き</li> <li>星座の動き</li> </ul>
1	4	第3章 天体の満ち欠け	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の動きと見え方</li> <li>金星の動きと見え方</li> </ul>

1	8	3-5 自然・科学技術と人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の活動を通じた物質の循環</li> <li>・天然の物質と人工の物質</li> <li>・プラスチック</li> <li>・科学技術の発展の歴史</li> <li>・科学技術の利用とくらし</li> <li>・身近な自然環境の調査</li> <li>・自然が人間の生活の及ぼす影響</li> <li>・人間の活動と自然環境</li> </ul>
2	15		
3	8		

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 自然事象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・レポート</li> <li>・ワークシート・小テスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> 自然事象の規則性などを見出し表現しているなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・ワークシート</li> <li>・小テスト・定期テスト</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自然事物現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・自己評価</li> <li>・レポート・ワークシート</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 英語科 第3学年

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーション活動を図る資質・能力の育成を目指す。
指導の重点	第2学年までの学習を基礎として、より一層活発に言語活動を行いスピーチやプレゼンテーションなどにつなげていく。既習の学習内容を繰り返し指導し定着をはかることで、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの力の向上をはかる。

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	10	LESSON 1 Join Us Take action! Listen 1 Take action! Talk 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が夢中になっていることを紹介する。</li> <li>現在完了形の用法を理解し、活用する。</li> <li>電車の運行情報を聞き、必要な情報を聞き取る。</li> <li>電話で話す際の特有な表現を使う。</li> </ul>
5	14	LESSON 2 The Power of Music	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに合う曲について意見文を書く。</li> <li>現在完了進行形の用法を理解し、活用する。</li> </ul>
6	14	LESSON 3 Cranes for Peace	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島原爆被害者の物語文を読み概要を捉える。</li> <li>受け身の用法を理解し、活用する。</li> </ul>
7	12	Reading Lesson 1 What Makes Music?	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に関する説明文を読み、概要を捉える。</li> </ul>
9	14	LESSON 4 Bollywood Movies Take action! Listen 3 Take action! Talk 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画に関する記事を読み、内容を基に自分の意見を書く。</li> <li>後置修飾の用法を理解し、活用する。</li> <li>バスのアナウンスを聞き、必要な情報を聞き取る。</li> <li>手伝いを申し出たり、提案したりする。</li> </ul>
10	14	LESSON 5 Translating Culture Take action! Listen 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手を配慮して、漫画を英語に翻訳する。</li> <li>関係代名詞(主格)の用法を理解し、活用する。</li> <li>インターネットに関するラジオを聞き、概要を捉える。</li> </ul>
11	14	LESSON 6 Being Fair Reading Lesson 2 I Have a Dream	<ul style="list-style-type: none"> <li>「公平」についての記事をよみ、要点を捉える。</li> <li>関係代名詞(目的格)の用法を理解し、活用する。</li> <li>アメリカの人権に関する物語文を読み、概要を捉える。</li> </ul>
12	13	LESSON 7 Design for Change Take action! Read 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の掲示に関する記事を読み、内容を基に自分の考えを伝え合う。</li> <li>仮定法の用法を理解し、活用する。</li> <li>スキーツアーの情報を読み、必要な情報を聞き取る。</li> </ul>
1	11	LESSON 8 For Our Future Take action! Listen 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語と関わりながら生活している人々の体験談を読み、要点を捉える。</li> <li>間接疑問の用法を理解し、活用する。</li> <li>国立公園の注意事項を聞き、要点を捉える。</li> </ul>
2	13	Take action! Read 2 Project 3 10年後の自分へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの案内情報を読み、必要な情報を聞き取る。</li> <li>10年後の自分へのメッセージ動画を作る。</li> </ul>
3	9	Reading Lesson 3 Learning from Nature	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオミメティクスについて書かれた説明文を読み、概要を捉える。</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等を理解すると共にこれらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。	定期考査、パフォーマンステスト、単元テスト、会話、英作文など
<b>【思考・判断・表現】</b> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	パフォーマンステスト(発表、会話、読解、聞き取り)
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	パフォーマンステスト、言語活動への取組

令和7年度 年間指導計画 音楽科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</li> <li>・音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</li> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動を重視する。歌詞の内容や作詞者作曲者、使われている楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりなどを理解し、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することを目指す。</li> <li>・器楽、創作では、楽器の音色や響きと奏法との関わりや、音の重なり方、反復、変化、対照などの構造上の特徴を理解し、創意工夫した表現を目指す。</li> <li>・鑑賞では、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性などについて考え、様々な視点で楽曲を捉えられることを目指す。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	3	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう ・『花』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や旋律と強弱との関わり、詩にこめられた思いが旋律にどのように生かされているかの理解</li> <li>・日本語の響きを大切に歌唱表現</li> <li>・曲にふさわしい歌唱表現の工夫</li> </ul>
5 6	7	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう ・ブルタバ(モルダウ) アルトリコーダーに親しもう ・「Jupiter」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の特徴との関わり</li> <li>・作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取る</li> <li>・アルトリコーダーの基本的な奏法</li> <li>・豊かな音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫</li> </ul>
7 9 10	10	思いをこめて合唱しよう(合唱コンクールに向けて)・ ・『夢の世界』 ・学年課題曲 ・各クラス自由曲 ・指揮法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解</li> <li>・歌詞の意味や曲の背景にある情景や作者の心情、自己のイメージや感情をふくらませた歌唱表現</li> <li>・指揮の基本的な表現方法</li> </ul>
11 12	4	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう ・「ボレロ」 詞や曲の背景を理解して歌おう ・『花の街』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の特徴の理解</li> <li>・音色や強弱の変化を感じ取る</li> <li>・歌詞の内容や旋律と強弱との関わり、詩にこめられた思いが旋律にどのように生かされているかの理解</li> <li>・日本語の響きを大切に歌唱表現</li> <li>・曲にふさわしい歌唱表現の工夫</li> </ul>
1	4	ギターの響き ・マリーゴールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの基本的な奏法</li> <li>・ギターの音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫</li> </ul>
2 3	7	心を通わせて合唱しよう(卒業式に向けて) ・大地讃頌 ・卒業式歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者や作曲者、楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱の技能や、楽器で表現したり曲を創作したりする基礎的な技能が身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・定期考査</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術などと関わらせながら、どのように表現するか思いや意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽活動の楽しさを体験することを通して、主体的・協働的に粘り強く学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取組</li> <li>・振り返り</li> <li>・提出物</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 美術科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで身に付けた表現に関する資質、能力を柔軟に活用して、より豊かに高めることに重点を置く。</li> <li>発想や構想の学習では、感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に、言葉で考えを整理する言語活動の充実を図る。</li> <li>鑑賞活動では、対話的な学びを通して、お互いのよさや個性などを認め尊重し合うような学習活動の充実を図る。</li> <li>生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実を図る。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1	=オリエンテーション=	・美術の授業内容・評価評定・なぜ美術を学ぶのかに関して。
4	2	=鑑賞= <透視図法>	・構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な美しさなどを理解する。 ・人物や情景、構図や色彩などから、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
5 6	7	=表現[デザイン]/鑑賞= <パッケージデザイン>	・伝える、使うなどの目的や機能をもとに主題を生み出し機能と美しさの調和のとれた表現の構想を練る。 ・生活や社会の中の美術の働きについて関心を持つ。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。
6	1	=鑑賞= <西洋美術史[古代・中世]>	・美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。
7	2	=表現[デザイン]= <薬物乱用防止ポスター> (夏休みの課題)	・伝える目的や条件などをもとに、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさの調和のとれた表現の構想を練る。
9 10	6	=表現[絵画]/鑑賞= <自画像>	・自身を深く見つめ、考えたこと、夢、感情などから主題を生み出し、心豊かに表現の構想を練る。 ・表現の意図に応じて自分の表現方法を追求する。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。
11	4	=鑑賞= <西洋美術史[近世・近代]>  =鑑賞= <西洋美術史[現代]>	・美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。
12 1 2 3	12	=表現[工芸]/鑑賞= <篆刻[印面]>  =表現[彫刻]/鑑賞= <篆刻[鈕]>	・装飾の目的や条件をもとに、洗練された美しさを考え、表現の構想を練る。 ・使う目的や条件をもとに、使いやすさと美しさとの調和を考え、表現の構想を練る。 ・材料や用具などの特性などから、制作の順序を考え、見通しをもって表す。

評価の観点および規準	主な評価資料
<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の活動において、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、想像的に表そうとしている。また、制作の順序を総合的に考えながら、見通しをもって表そうとしている。</li> <li>表現及び鑑賞の活動において、形や色彩、材料、光などの特性や、それらが感情にもたらす効果を理解している。また、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品</li> <li>授業プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>

<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の活動において、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。また、伝える、使うなどの目的や機能と美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。</li> <li>・鑑賞の活動において、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。また、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品</li> <li>・ 授業プリント</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への取組</li> <li>・ 授業プリント</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 保健体育科 第3学年

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体化として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。</li> <li>・ 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</li> <li>・ 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	7	体づくり運動	・ 体ほぐし運動、体力を高める運動、新体力テスト、運動会練習
	3	体育理論	・ 文化としてのスポーツの意義
5	9	陸上競技	・ 短距離走、リレー(運動会練習含む)
	15	球技	・ ベースボール型(ソフトボール)
	3	保健分野	・ 健康な生活と病気の予防
6 7 9	12	水泳	・ クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、メドレー
	3	保健分野	・ 健康な生活と病気の予防
10	16	球技	・ ネット型(バレーボール)
11	8	陸上競技	・ 長距離走
	4	保健分野	・ 健康な生活と病気の予防
12	8	柔道/ダンス	・ 柔道(投げ技) ・ 現代的なリズムのダンス
1 2 3	11	球技	・ ゴール型(アルティメット)
	6	保健分野	・ 健康な生活と病気の予防

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> 選択した技能の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解するとともに、選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。	・ 技能検査、授業観察、補助簿、筆記テスト
<b>【思考・判断・表現】</b> 生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	・ 補助簿、提出物、授業観察、筆記テスト
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組む。	・ 授業観察、筆記テスト、補助簿、提出物

令和7年度 年間指導計画 技術科 第3学年

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育成する生物の成長、生態の特性等の原理、法則と、育成環境の調整方法等の基礎的な技能の仕組みについて理解する。</li> <li>・ 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全、適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</li> </ul>
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。</li> <li>・ 技術に込められた問題解決の工夫について考える。</li> </ul>

月	時数	単元名 (題材名)	学習内容
4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物育成の技術による問題解決</li> <li>・ これからの生物育成の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物育成の実習</li> <li>・ 生物育成の技術の学習をふり返ろう</li> </ul>
5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物育成の技術と私たちの未来</li> <li>・ 生物育成の学習のまとめ</li> </ul>
6	2		
7	2		
9	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 双方向性のあるコンテンツによる問題解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決の流れ</li> </ul>
10	2	↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決の流れ</li> </ul>
11	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの情報の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の技術の学習をふり返ろう</li> <li>・ 情報の技術と私たちの未来</li> </ul>
12	1	↑ ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の技術の学習のまとめ</li> </ul>
1 2 3	1 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術分野での問題解決をふり返ろう</li> </ul>

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活や社会を支えている生物育成の技術について理解している。</li> <li>・ 生物の成長の状態に合わせて、安全で適切な管理作業ができる技能を身につけている。</li> <li>・ 生活や社会を支えている情報の技術について理解している。</li> <li>・ 安全で適切なプログラムを制作し、動作を確認してデバッグすることができる技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 定期テスト</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解決策を構想し、目的に合わせた育成計画を立てている。</li> <li>・ 使用するメディアを複合する方法と、効果的な利用方法を構想している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品</li> <li>・ 提出物</li> </ul>
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>・ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への取組</li> <li>・ 作品</li> <li>・ 提出物</li> </ul>

令和7年度 年間指導計画 家庭科 第3学年

目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を取得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して課題をもって生活をよりよくしようとする態度を育てる。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得させる。</li> <li>学んだことを定着させ、日常生活に生かすことができるようにさせる。</li> <li>生活と技術とのかかわりについて理解できるようにさせる。</li> <li>3年間学んだことを総合的に振り返らせ、今後のよりよい生き方について考えを深めさせる。</li> </ul>

月	時数	単元名(題材名)	学習内容
4	1	A 家族・家庭と子どもの成長	○ 幼児の生活と遊び
5	2		・家庭を支える社会
6	2		・乳幼児の心身の発達
7	2		・発達にとっての大人の役割
9	2		・乳幼児を取り巻く環境
10	1		・「遊び」の紹介
11	2		・自分の今とこれまで
12	1		○家庭生活と地域
1	1	C 消費生活・環境	・自分の今とこれから
2	2		・多様な人びとが暮らす社会
3	1		・わたしたちの家庭生活と地域
			○持続可能な家庭生活
			・自立と共生

評価の観点および規準	主な評価資料
<b>【知識・技能】</b> ・ 基本的事項を理解している	・ 定期テスト
<b>【思考・判断・表現】</b> ・ 自分の考えを表現している ・ 提出課題に工夫がある	・ 定期テスト ・ 提出課題 ・ 発表課題
<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・ 課題に意欲的に取り組んでいる	・ 授業や課題への取組